

その品の良い街並みは まるでシルク -絹織物- のよう

まちあるきの考古学

とても優美な フランス第2の都市
リヨン Lyon

濃緑のフルヴィエールの丘に 優美な姿でたたずむノートルダム教会
それはまるで 上質のビロードのドレスをまとった貴婦人のよう

リヨンの街並みも その品の良さに合わせるかのように
とても上品なたたずまいを見せています

街から見えるノートルダム教会は、丸みを帯びた柔らかな表情をしています。
清潔感のある大理石、リズム感のある列柱、均整の取れたプロポーション、それはまるで、ティアラを戴いた貴婦人のようにもみえます。

ノートルダム教会の優美さは、リヨンの上質な街並みの規範になっているようです。

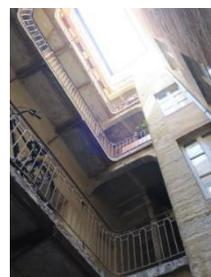
マロニエ並木で縁どられたバルクール広場や、上品なファサードの市庁舎(Hôtel de Ville)などは、街を訪れた人を魅了します。
そして、石灰石の外壁に朱色の瓦を載せ、軒高の揃った建物群は、街並みの高い品と質を感じさせます。



軒線の揃った上品な街並み



市庁舎(Hôtel de Ville)



トラブール

フルヴィエールの丘の麓は歴史地区(Vieux Lyon)とよばれ、少し無骨なルネサンス期の建物が軒を連ねています。

外壁は煤けたクリーム色の石灰石で、瀟洒なベディメントや真鍮のバルコニーはなく、額縁のような窓枠が連なります。

リヨン観光の楽しみの一つがトラブール巡りです。
トラブールとは、表通りから裏通りへの建物内の抜け道のことで、絹織物を運ぶ通路として使われていたそうです。
いまま迷路のようなトラブールは観光用に開放されています。



歴史地区

歴史の中のリヨン

ヨーロッパの南北幹線ルートに位置する街

リヨンはローヌ川とソーヌ川の合流する場所にあります。この立地条件により、ローマ時代から二千年の間、街は繁栄し続けてきました。

ローヌ川の水は、アルプス・レマン湖から流れ出ています。湖畔のジュネーブから山間を縫いながら西流し、リヨンでソーヌ川と合流すると、流れを南に変えて地中海に注ぎます。ソーヌ川は、ブルゴーニュとロレーヌの国境付近に源流をもち、ブルゴーニュの葡萄酒を貫通して南流します。源流付近は、フランス西岸に流れでるセーヌ川や、ライン川に合流して北海に流れでるモーゼル川の源でもあり、西ヨーロッパの分水嶺にあたります。

ヨーロッパが未開の地であったローマ時代、河川を伝う水運が人や物の交通路となっていました。リヨンは地中海から大西洋にぬける、南北幹線ルートの中継点に位置していたのです。

ローマ時代、皇帝属州(ガリア・ルグドゥネンシス、ローヌ川とセーヌ川の流域が範囲)の首都となります。地中海を制したローマは、大西洋岸に支配地を広げる中で、北方への交通要所であるリヨンを支配の拠点としました。都市はフルヴィエールの丘に築かれました。いまま丘上にはローマ時代の劇場跡が残っています。

ルネサンス時代には、強大な権力掌握に成功したフランス国王の下で、信用の大都市が定期的に開催されました。地中海・東方諸国の産物と大西洋・北海の産物が取引される市場として始まり、貨幣経済が進展する時代にあって、国際的な為替と両替が行われるヨーロッパの金融街として繁栄したのです。

アルプスと中央山地の間を流れるローヌ川は地中海から大西洋にぬける交通幹線ルート



フルヴィエール大聖堂から見下ろすリヨ南市街地
ローヌ川(向う)とソーヌ川(手前)を航行する船が一望でき
ローマ植民都市が立地したのも頷ける

両河川の合流地点
ソーヌ川右岸の濃緑がフルヴィエールの丘



フルヴィエール丘の麓の歴史地区(Vieux Lyon)には、ルネサンス時代の街並みが残されています。その一角にある両替広場(Place de Change)は金融街の時代の名残りです。

近代になると、リヨンは絹織物産業で隆盛の時代を迎えます。当時の上質な生糸産地であるイタリアに近いことが、産業発展のきっかけだといわれます。

産業革命により生まれた自動織機は、リヨンを一大繊維産業都市に押し上げました。地の利を生かしたリヨンは、生糸の輸入、絹織物の輸出を加速させます。19世紀には、リヨンでジャガード織機など様々な織機の発明が相次ぎます。ジャガード織機は、パンチングカードに記録した模様を自動で織り上げる機械で、リヨンは最新の織機が並ぶ数多くの工房が開かれ、ヨーロッパ随一の絹織物産地となります。

歴史地区の北にある丘陵地クロワ・ルース(Croix-Rousse)には、数多の絹織物工房が開かれ、数万人が絹織物産業に従事したとされています。ローヌ川とソーヌ川に挟まれた半島地区は、この時代に形成された市街地で、華麗な市庁舎(Hôtel de Ville)や欧州一の広さをもつベルクール広場など、経済繁栄の名残りがみられます。

リヨンは、フランス第二の大都市で、世界遺産都市でもあります。日本人には馴染みの薄い街ですが、その美しい街並みは、いまま忘れられない旅の思い出となりました。



まちあるきの考古学

近くのまちあるき

[ボルドー](#)

[マルセイユ](#)

[ゴールドとレ・ボー](#)